

令和8年度総合型選抜 農学部における出願資格・出願要件、選抜方法及び配点

茨城大学農学部地域総合農学科の地域共生コースでは、令和7年度に実施する令和8年度入学者選抜から、新たに総合型選抜による学生募集を開始します。農業と関連した、地域の環境・社会問題の解決に意欲を持つ学生を募集します。地球温暖化問題の緩和と適応、生物多様性の保全と復元、里地・里山の持続可能性、国際化に対応した多様性ある地域づくり、環境正義を実現する政策の立案等に対して、主体的に関与することに関心のある学生からの応募を期待します。

地域共生コースでは、文理融合型の教育カリキュラム、データサイエンス教育や実験・実習等を通じて、実践的な教育・研究の機会を提供します。出願資格・出願要件、選抜方法、配点等については以下のとおりです。

【出願資格・出願要件】

出願資格			
次の各号のいずれかに該当する者			
①高等学校（中等教育学校を含む）を令和7年3月以降に卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月以降に修了した者及び令和8年3月修了見込みの者 ③文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、令和6年4月から令和7年3月までに修了した者及び令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者			
出願要件			
農学部	地域総合農学科	地域共生コース	次の要件を全て満たし、合格した場合に必ず入学することを確約できる者 ①地域共生コースでの学修を強く志望する者 ②調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者

【選抜方法】

学部	課程・コース		選抜方法等
農学部	地域総合農学科	地域共生コース	集団討論及び面接の結果を総合して評価します。 〈集団討論〉 1 グループを数名程度とし、「地域の環境問題や社会問題の解決に農業が貢献できること」に関する問題を出題します。 受験者は、まず 10 分間、個人で声に出さずに提示された問題に対する「回答」を考えます。 その後、35 分間の集団討論を実施します。集団討論では、最初に、グループの各人が順番に意見を 2 分程度で発表します。全員が最初の意見を述べた後、他の受験者の意見を踏まえ、自由に討論します。 集団討論後、各個人が 30 分間で、集団討論の内容を踏まえ、提示された問題に対する「回答」を 400 字以内で作成します。 集団討論では、グループで課題に取り組む協調性と意欲（他者の意見を尊重しつつ、問題解決に向けて、より良い解決策を述べることができるか等）をみます。また作成した「回答」では、農業の観点から、課題解決に向けた総合的な思考力（黙考と討論を経て導出された意見が多面的・論理的なものかどうか等）をみます。 〈面接〉 個人面接（15 分程度）を実施します。出願時に提出する「調査書」、「活動報告書（※ 1）」、「学修設計書（※ 2）」を参考に、地域の発展に貢献するための学修・活動経験、農業技術や政策に対する幅広い関心と学習意欲、論理的思考力などをみます。 （※ 1）活動報告書：これまでに地域の環境や社会問題に関連して行った活動について、600 字以内で記載してください。報告書には、どのような活動を行ったか、どのような成果が得られたか、成果に対してどのように貢献したか、何を学んだかを含めて記載してください。 なお、参考資料として発表資料やプログラム等を一つのみ添付できます。 *活動の例：高校等での探究活動、研究発表、大会やコンテストへの参加、部活動、ボランティア活動 など （※ 2）学修設計書：入学後に何を学びたいか、どのように学びに取り組むか、卒業後に地域の環境・社会問題の解決にどのように取り組みたいかを含めて、800 字以内で記載してください。

【配点】

学部	課程・コース		集団討論	面接	出願書類 (調査書・活動報告書・学修設計書)	合計
農学部	地域総合農学科	地域共生コース	50	50	(※1)	100

(※1) 面接の参考として利用することを表します。